

2021年4月1日
住友生命保険相互会社

2021年度 新入職員向け社長あいさつ（抜粋）

住友生命保険相互会社（代表執行役社長 高田 幸徳、以下「住友生命」）は、本日524名（総合キャリア職員88名、ビジネスキャリア職員72名、総合営業職員364名）の新入職員を迎えました。以下に社長の挨拶の要旨を紹介します。

・本日は、皆さんにとって、社会人としての新しい一歩を踏み出す節目の日であり、私にとっても社長としての初日という節目の日となる。皆さんのこれからの成長へ期待を込めて、住友生命で働く上で心掛けてほしいこととお話します。

■住友生命の原点・使命感

・創業110年を超える歴史の中で、多くの困難を乗り越えることができた根幹には、脈々と受け継がれてきた2つの言葉がある。創業時の志を表した「理想の会社を創ろう」という言葉、そして生命保険の社会的意義を表した「悲しみとともに貧しさが訪れないように」という言葉だ。これらの言葉に表われているように、社会に貢献するという使命感を常に持ち、理想を追求し続けてきたからこそ今日まで発展し続けることができた。

私たちを取り巻く環境は今後も不確定であり、さらなる競争激化の時代になることが想定される。常にこの2つの言葉の持つ意味に立ち返り、すべてのお客さまに安心と満足を提供し続け、強い信頼を得ることが重要である。皆さんには、本当にお客さまの役に立つ仕事、世の中のためになる仕事を心掛け、4つの「シン」なる職員を目指してほしい。

■「シン」なる職員を目指して

①「信」なる職員

信用・信頼される職員となるために、お客さまに安心・満足を提供するという生命保険事業の意義・本質を顧みて、規範・道徳を遵守したお客さま本位の行動を常に心掛けてほしい。

②「深」なる職員

お客さまに提供する安心・満足の価値を一層深めていく職員となるために、現状に満足せず、常に学び続ける姿勢・挑戦し続ける姿勢を心掛けてほしい。

③「新」なる職員

新たな価値を生み出していく職員になるために、今の感覚や常識と違う仕事があれば、前例にとらわれず、自身が主体となって積極的に変える行動を起こしてほしい。

④「進」なる職員

経営理念にもある「進取不屈の精神」を堅持し、逆境の中にあっても歩みを進め続けることができる職員となるために、形になるまでやり続ける粘り強さを身につけてほしい。

住友生命が目指す「社会になくてはならない保険会社」の実現に向けて、「シン」なる職員となれるよう共に取り組んでいこう。